

授業科目	看護の統合と実践Ⅱ	実務経験	開講時期	単位数	授業形態	時間数
		◎	3年次前期	1	講義	30時間
到達目標	1. 災害が人々の生命や生活に及ぼす影響を理解する。 2. 災害各期における看護の役割を理解する。 3. 災害直後における看護の役割と方法を理解する。 4. 災害に対する社会の対応や仕組み、防災対策の実際を知る。 5. 国際協力における看護の役割を理解する。					講師 看護師(DMAT) 救急救命士 市役所防災まちづくり課 民間ボランティア 専任教員
授業計画						
1回	災害医療の基礎知識					看護師 (DMAT) (16時間)
2~3回	災害看護の基礎知識					
4~5回	災害サイクルに応じた活動現場別の災害看護					
6回	集団災害医療とトリアージ					
7~8回	看護師にできるトリアージの実際					
9~10回	応急処置と実際 心肺蘇生法、AED					
11~12回	地域における防災対策とその実際					田辺市市役所 防災まちづくり課 (4時間)
13回	災害ボランティアの実際					民間ボランティア 団体 (2時間)
14~15回	国際協力の定義と基本概念、国際協力活動の現状と課題 国際協力活動における看護の役割					専任教員 (4時間)
評価方法	修了試験 選択式問題又は論述問題による筆記試験 看護師 (70%)、専任教員 (20%) 救命救急受講修了書取得 (10%) を総合して評価する					
教科書	系統看護学講座 専門分野 災害看護・国際看護 医学書院					
備考	予習においてはテキスト、関連書籍の該当ページを熟読するとともに、理解できない箇所を明確にする。復習においてはテキスト・講義資料・参考文献などを用いて、学習した内容を整理し、理解を深める。					